

Seigetsuki

# ふたりだけの、オーダーメイドな ウエディングを叶える空間。 メゾンドリア・フィューユ誕生



1\_高砂の席にはゆったりとしたソファを配し、ふたりのリビングにゲストをお招きしたような雰囲気空間をコーディネート。 2\_カリフラワー、赤ピーマン、さつまいも、グリーンピースのビュレが彩る「4種の野菜とオマール海老のミルフィーユ仕立て」。たくさんの感謝の想いを重ねたお料理をゲストに。 3\_ビターなチョコレートのようなカラーリングが落ち着いたイメージのサロン。南町通にさりげなく佇む。 4\_ウエルカムボードやテーブルフラワーにもシックなカラーとデザインをチョイス。 5\_黒毛和牛フィレステーキ マデラと紫マスタードソース、甘鯛のポワレ サフランとバルサミコソース、フルーツマトとバルミットのサラダ、コンソメスープ 松茸と野菜のジュリエヌ、モンブランと季節のフルーツ・パニラアイス添えのフルコース。ふたりがお気に入りのパリのビストロの味をモチーフに。

「ふたりが暮らしたパリのアパルトマン。想い出がいっぱいのあの部屋、あの寛ぎを、会場に表現できたら素敵ですね」  
「リア・フィューユ」仙台一番町サロンの上階に新たに生まれた、ウエディングのためのプライベート・レストラン「メゾンドリア・フィューユ」。そのファーストゲストとなるふたりが紡ぐのは、美しく時を経たアンティークや味わいのある優雅さをまとったモチーフで満たされた、エレガントな空間です。  
最初はまったくのノープラン、ノーイメージだったというおふたり。それもそのはず、「リア・フィューユ」を訪れる数日前までは、結婚式も披露宴もするつもりがなかったそう。  
「ふたりとももう30代半ばだし、派手な結婚式は似合わない。でも、結婚式ってどうしても派手というか、いかにも「な華やかさになるじゃないですか。だから、しなくていいか、って言うってんです。でも、結婚式はふたりのためじゃなく、これまでお世話になった方々、そしてこれからもお世話になる方々への挨拶とおもてなしの場なんだよ、って両親に諭されて、改めてその意味を考えたんです」  
5年前、互いに仕事で在住していたパリで出合い、そのまま一緒に暮らすようになったふたり。今回、彼の日本転勤を機に彼女も日本への帰国を決め、新生活をスタートさせることにしています。  
ウエディングデザイナーとの対話は、彼の左手にあった古い手巻きの

腕時計から始まりました。ふたりがパリで出会ったこと。休日には蚤の市をめぐり、お気に入りのビストロでフランス料理とワインを味わうのが好きだったこと。夕陽の見える5階のアパルトマン、そのリビングに少しずつ買集めたアンティークを飾り、ふたりでゆっくり音楽を聴くのが夜の楽しみだったこと。ふたりの想い出をひとつひとつ、ウエディングデザイナーにひとつの提案が生まれました。  
「おふたりがいちばん好きだった空間を、会場にしませんか？」  
アンティークのソファやインテリアが主役の広いリビングのような空間。純白ではなく、時を経て美しく深みを増した白を基調に、シックな黒やグレー、マットなゴールドをアクセントカラーに。会食にはふたりで通ったビストロが得意だった野菜をふんだんに盛り込んだフランス料理のメニューを揃えます。  
そのおふたりでなければ実現し得ない、完全オーダーメイドなウエディング。「リア・フィューユ」は、おふたりの考える、しあわせのかたちをともに創ります。

来店ご予約受付中  
☎022-714-1122  
info@ria-feuille.jp  
定休日/毎週火曜日  
受付時間/10:00~19:00  
公式facebook、Instagramにて情報発信中!

おふたりの式のテイストは、アンティーク&リラックスな雰囲気と統一感を出して、「メゾンドリア・フィューユ」の広い空間を、ふたりの色彩で染めあげます。